

令和6年度
全国学力・学習状況調査
結果の概要

令和6年10月
岩沼市教育委員会

岩沼市の学校教育

「学ぶ場」と「磨く場」を共に大切にする教育

「主体的・対話的で深い学び」を実現するために「これからの時代に求められる能力」と「いつの時代においても求められる能力」のバランスを考えながら、必要に応じてICTを活用して指導しています。

磨く場 これからの時代に求められる能力

身に付けた「基礎・基本」をもとに友達と深め合ったり、一人できつめたり、先生と確認したり、と目標を達成するために、自分にとって最適な方法を選択する「自己調整力」が求められています。

これからの社会を生き抜くためには、みんなと一緒に同じことを同じ方法で学ぶとともに、「やりたい」「今の自分に必要」と考え、自らの学びに責任を持って取り組むことも大切とされています。

i タブの活用

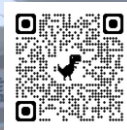
全国小中学校1人1台の学習用端末配備率99.9%（2022年度）

ほぼ全ての児童生徒に学習用端末が整備されている現在、「i タブ」は教科書やノートと同じように「文房具」としての位置付けです。文部科学省が、小6と中3を対象に実施している「全国学力・学習状況調査」において、2027年度にはパソコン端末で実施することが決まり、すでに段階的に移行が始まっています。今後、タブレット端末は、無くてはならない「文房具」となります。

学ぶ場 いつの時代においても求められる能力

「読み」「書き」「計算」といった、各教科における基礎・基本をしっかりと身に付けるため、これまでどおり「一斉指導」も行います。

【参考】広報いわぬま2023.12号
まなびiスクール構想



1 学力について

「学力」とは、以下の三要素から成り立っています。

知識・技能

各教科や科目で学ぶ基礎的な知識や基本的な技能を指します。これには、読み書きや計算といった基本的な能力が含まれます。

思考力・判断力・表現力等

学んだ知識や技能を使って、問題を解決したり、自分の考えをまとめたりする力です。これには、論理的に考える力や創造的に問題を解決する力、他者に自分の考えを効果的に伝える力が含まれます。

主体的に学習に取り組む態度

学習に対する意欲や興味、学び続ける姿勢を指します。これは、自ら進んで学び、学びを深める姿勢や習慣を含みます。

この三要素をバランスよく育成することが求められています。

2 調査の概要について

今年度実施した「全国学力・学習状況調査」の結果についてお知らせいたします。

調査の目的、対象等は下のとおりです。教育委員会として、今回の結果を踏まえ、児童生徒一人一人の学習状況に応じた学習指導の改善・充実に取り組んでいきます。

本調査の結果については、市内小・中学校の全体的な傾向を示していますが、多様な学力の一部であり、学校における教育活動の一側面であることをご理解ください。

(1) 調査の目的

- ・全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・上記の取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査日 令和6年4月18日(木)

(3) 調査対象

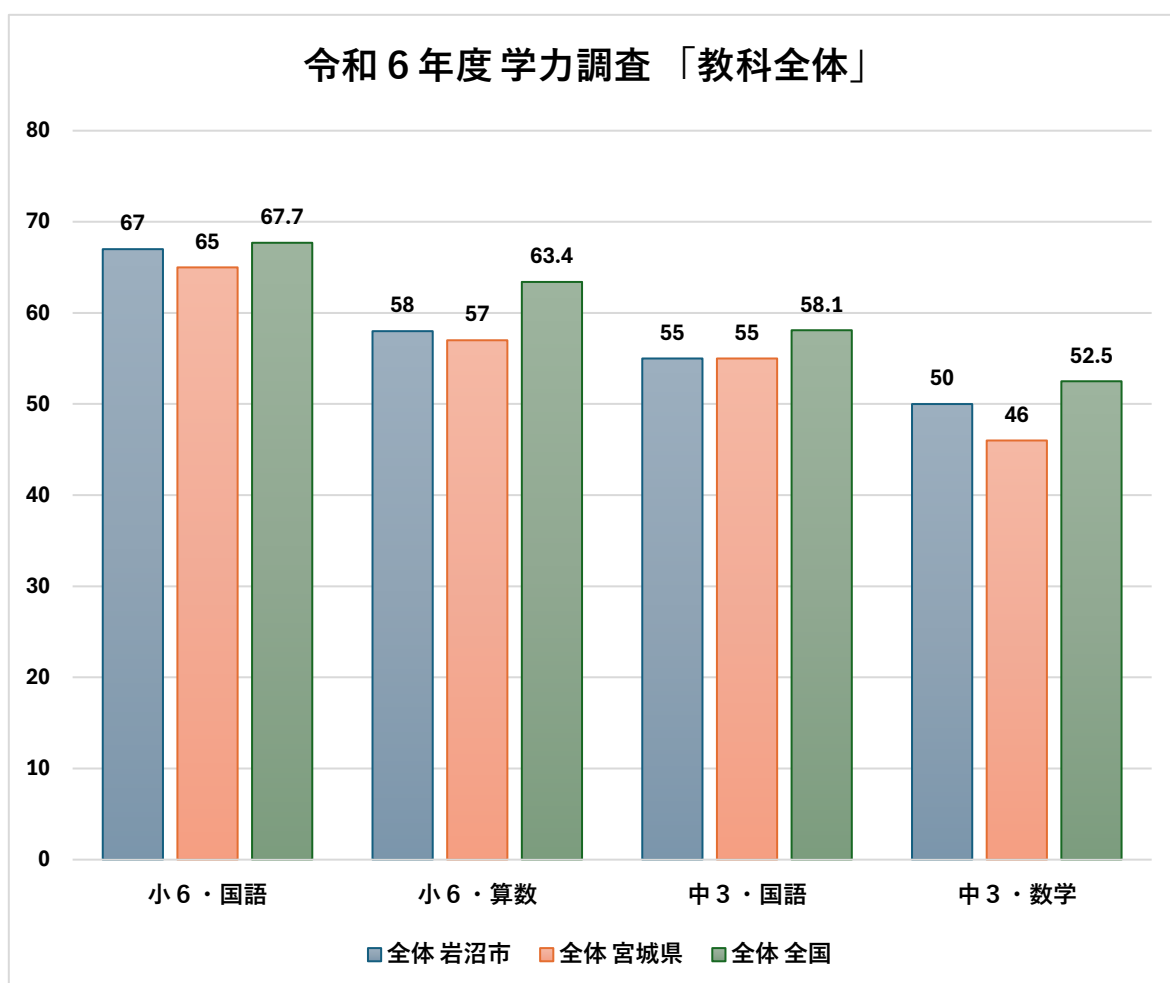
対 象	教科に関する調査	質問調査	参加者数
小学校6年生	国語、算数	学習意欲、生活習慣、学習習慣、規範意識、自己有用感等	413名
中学校3年生	国語、数学		380名

3 教科に関する調査結果について

<宮城県の数値は仙台市を除く>

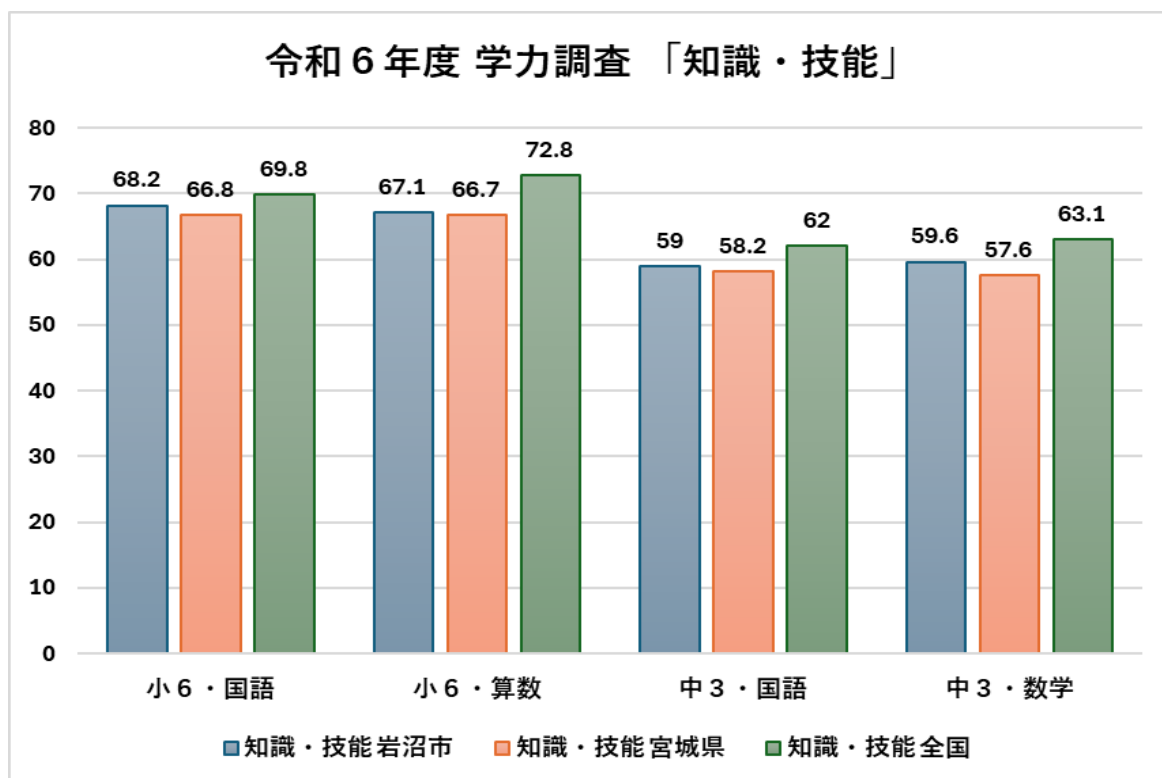
(1) 教科全体の平均正答率比較 [%]

校種・学年	教科	岩沼市	宮城県	全国
小学校 第6学年	国語	67	65	67.7
	算数	58	57	63.4
中学校 第3学年	国語	55	55	58.1
	数学	50	46	52.5



(2)「知識・技能」の平均正答率比較〔％〕

校種・学年	教科	岩沼市	宮城県	全国
小学校 第6学年	国語	68.2	66.8	69.8
	算数	67.1	66.7	72.8
中学校 第3学年	国語	59.0	58.2	62.0
	数学	59.6	57.6	63.1



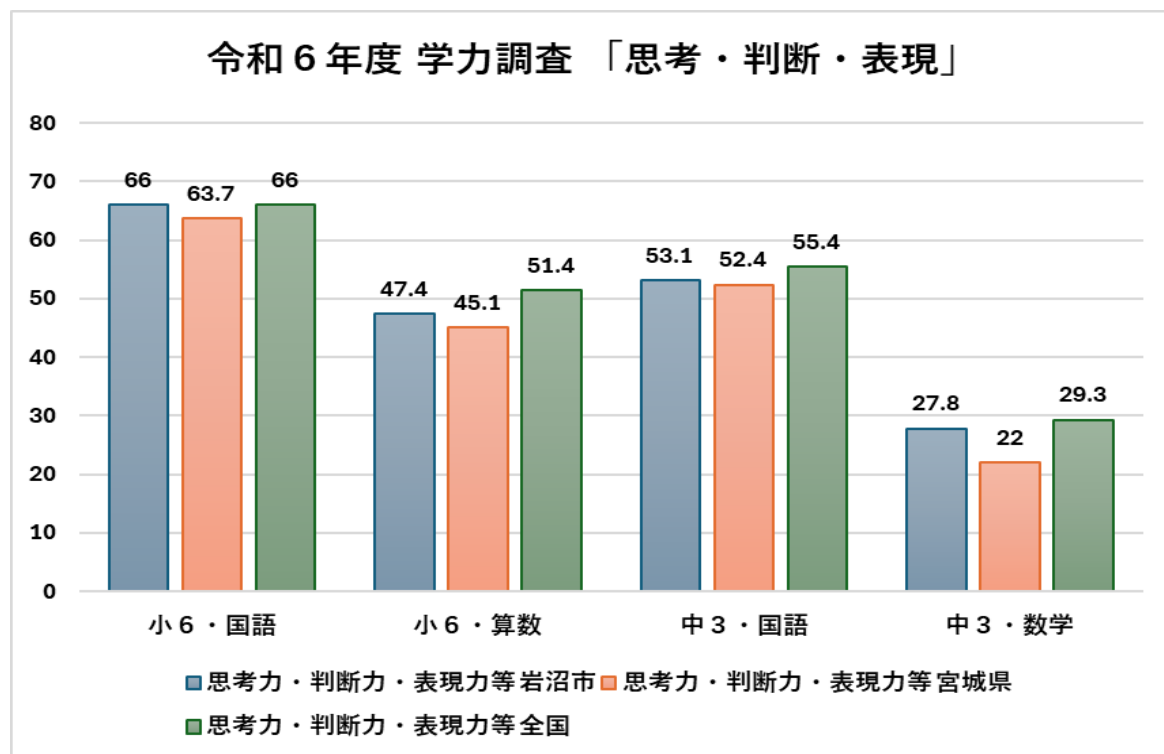
◆質問調査結果

※備考欄の◎は県及び全国より高いこと、○は県又は全国より高いことを示す。

番号	質 問 事 項	校種	岩沼市	宮城県	全国	備考
28	中学1、2年生（小学5年生まで）のときの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。					
28-1	(1) 自分のペースで理解しながら学習を進めることができる	小学校	90.3	86.5	87.5	◎
		中学校	84.7	83.6	87.0	○
28-2	(2) 分からないことがあった時に、すぐ調べることができる	小学校	95.2	93.2	94.3	◎
		中学校	97.0	95.7	94.9	◎
28-4	(4) 画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる	小学校	90.7	89.7	89.8	◎
		中学校	88.2	90.1	89.0	

(3)「思考力・判断力・表現力等」の平均正答率比較〔％〕

校種・学年	教科	岩沼市	宮城県	全国
小学校 第6学年	国語	66.0	63.7	66.0
	算数	47.4	45.1	51.4
中学校 第3学年	国語	53.1	52.4	55.4
	数学	27.8	22.0	29.3



◆質問調査結果

番号	質 問 事 項	校種	岩沼市	宮城県	全国	備考
17	自分と違う意見について考えるのは楽しい と思いますか	小学校	78.0	73.8	75.8	◎
		中学校	78.2	76.6	77.0	◎
28-5	自分の考えや意見を分かりやすく伝えるこ とができましたか	小学校	84.5	78.9	79.2	◎
		中学校	82.7	80.5	77.7	◎
28-6	友達と考えを共有したり比べたりしやす くなりましたか	小学校	90.9	86.1	86.1	◎
		中学校	92.2	88.0	86.2	◎
29	中学1、2年生(小学5年生まで) のとき に受けた授業で、自分の考えを発表する機 会では、自分の考えがうまく伝わるよう、 資料や文章、話の組立てなどを工夫して発 表していましたか	小学校	73.2	69.4	67.6	◎
		中学校	67.6	68.2	64.8	○
31	中学1、2年生(小学5年生まで) のとき に受けた授業では、各教科などで学んだこ とを生かしながら、自分の考えをまとめる 活動を行っていましたか	小学校	87.8	80.5	79.6	◎
		中学校	77.6	79.3	75.4	○
33	学級の児童・生徒との間で話し合う活動 を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考 え方に気付いたりすることができています か	小学校	88.6	85.9	86.3	◎
		中学校	85.4	87.0	86.1	

(4) 主体的に学習に取り組む態度

〈小学校第6学年〉

番号	質 問 事 項				
21	学校以外、普段（平日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾、家庭教師、インターネット活用も含む）		岩沼市	宮城県	全 国
		1時間以上	64.0	52.5	54.6
		1時間以内	34.8	48.7	40.0
		全くしない	1.2	4.6	5.3

〈中学校第3学年〉

番号	質 問 事 項				
21	学校以外、普段（平日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾、家庭教師、インターネット活用も含む）		岩沼市	宮城県	全 国
		2時間以上	30.7	21.4	31.7
		2時間以内	63.3	71.2	61.4
		全くしない	5.7	7.3	6.6

◆質問調査結果

番号	質 問 事 項	校種	岩沼市	宮城県	全国	備考
28-3	楽しみながら学習を進めることができましたか	小学校	88.0	86.8	86.0	◎
		中学校	85.9	84.9	82.4	◎
28-7	友達と協力しながら学習を進めることができましたか	小学校	91.6	87.4	87.1	◎
		中学校	88.7	86.5	85.2	◎
30	中学1、2年生(小学5年生まで)のときに受けた授業では、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいましたか	小学校	90.0	81.7	81.9	◎
		中学校	81.1	82.0	80.3	○
34	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	小学校	85.2	81.4	80.8	◎
		中学校	76.8	79.2	77.9	
35	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると感じますか	小学校	88.4	84.7	83.7	◎
		中学校	90.3	80.1	79.0	◎
37	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか	小学校	92.6	91.1	91.6	◎
		中学校	92.7	92.3	92.3	◎

4 調査結果のまとめ

(1)

① 3 (1) ～ (3) の正答率と正答数について

○平均正答率は、教科全体及び二つの観点（「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」）において、全国平均をやや下回るものの、宮城県の結果を上回るものが多い。

＊今回の学力調査の問題数は、小学校・国語 14 問、中学校・国語 15 問、小学校・算数 16 問、中学校・数学 15 問である。
一人当たりの正答数だけで見ると、岩沼市と全国平均の差は、一人当たりほぼ、0.5 問分の正答の違いに相当する。

② 質問調査結果について

○授業で ICT 機器を活用することで楽しさを感じ、協力して学習に取り組む割合が宮城県及び全国よりも高い。

○異なる意見について考えることが楽しく、ICT 機器を活用することで分かりやすく伝えたり、考えを共有・比較したり、考えをまとめたりする割合が宮城県及び全国よりも高い。

(2) 3 (4) 「主体的に学習に取り組む態度」について

○小・中学生とも、普段から学校の授業以外に一定時間学習をしている。
また、学校以外に「全く勉強をしていない」割合が、宮城県及び全国より低く、児童生徒の家庭学習に取り組む姿勢はおおむね良好である。

○楽しみながら、友達と協力しながら学習を進めることができる割合や、授業で学んだことを、これからの学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができる割合が、宮城県及び全国より高い。

5 岩沼市教育委員会の対応について

教育委員会は、教師に対して新しい学校教育の実施を求め、文部科学省が示す「令和の日本型学校教育」を基に教育観や指導観の見直しを促しています。各校では、「学力の向上」を目指し、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」の観点から、授業改善等を進めています。

『令和の日本型学校教育』自立した学習者の育成を目指して

① 個別最適な学び

児童生徒が一斉指導を経て、それぞれの学習ペースに合わせた方法で学びを進めます。例えば、「不安なので、先生と確認しながら進めたい」や「時々分からなくなるので、友達と進めたい」、「十分に理解できているので一人で発展的に進めたい」といったように、自らの学びを調整しながら進めるような学習方法も取り入れていきます。



自身の課題に取り組んでいるためiタブの画面は全て違います

② 協働的な学び

児童生徒が課題を解決する過程で、他者の意見に触れながら協力する機会を設定します。他者の考えに触れることで、思考を深めたり広げたりするだけでなく、必要に応じて自分の意見を修正する重要性を学ばせます。



課題解決に向けて、教員や友達と意見を交換します

③ ICT の活用

ICTの活用は、「①個別最適な学び」「②協働的な学び」を支える有効な道具です。これまで児童生徒が疑問に思ったことは、教科書や図書室の本と限られた情報源に頼っていましたが、iタブの導入により情報の入手が格段に広がりました。また、児童生徒間で協働して学ぶ際には、スライドを使って自分の考えを整理し、相手に分かりやすく伝えることや、共同編集によって意見を深め合うことも可能になります。これらは、社会でも既に活用されている手法であり、児童生徒が将来必要とする情報活用能力です。

以上の対策を通じて、教師はより効果的な教育を実践し、児童生徒の学力向上を図ることを目指します。

なお、全国学力学習状況調査については、国立教育政策研究所のホームページ (<https://www.nier.go.jp/24chousa/24chousa.htm>) に詳しく解説されています。



